

審査評議会がベトナム第 8 次国家電源開発計画（PDP8）修正案を承認

2025 年 2 月 21 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 貿易・輸出入

目次

PDP8 修正案を承認	1
PDP8 の修正内容	1
石炭火力発電	2
国内ガス火力発電	2
輸入 LNG 火力発電	2
水力発電	2
再生可能エネルギー、バイオマス、廃棄物発電、地熱、蓄電、その他電力源	2
輸出・輸入電力および原子力発電	2

PDP8 修正案を承認

ブイ・タイン・ソン副首相（ベトナム第 8 次国家電源開発計画修正案審査評議会会長）が、審査評議会の会議を開催した。会議では、修正および補足の条件付きで、修正案が承認された。これに基づき、商工省は規定に従って記録と手順を更新し、完了させ、首相の検討と承認のために速やかに提出します。

ベトナム第 8 次国家電源開発計画（PDP8）は、2021 年から 2030 年までの社会経済発展に必要な電力供給を確保する計画の他、2050 年までの展望を含んでいる。PDP8 の修正案では、党、国会の決議、そして国際的な約束に基づき、再生可能エネルギーの開発、原子力発電能力の強化、電力の輸入増加を含んでいる。

最近、国内外の新たな趨勢が電力消費の需要や、PDP8 で示されている電源開発の方向性に影響を及ぼしている。具体的には、国会が二重原子力発電所の投資計画を継続する決議を採択したこと、党と国家の指導者が 2030 年までの社会経済発展目標を従来より大幅に引き上げ、2025 年には 8%以上の成長を達成し、2026 年から 2030 年には二桁の成長率を目指すとしたことが挙げられる。また、最近の国際的に不安定な情勢なども、発電用燃料の輸入価格に変動をもたらしている。

今後、経済成長目標に対応するための電力供給を確保するためには、特に 2030 年までの電源開発計画の見直しが必要であり、迅速に実行できる電力源の開発が優先されるべきである。特に、北部地域での電力需要に対応するための開発が重要である。

PDP8 の修正内容

PDP8 修正案では、国内需要に対応する総発電能力（輸出、共同発電、リスクのある火力発電を除

く) は、183,291-236,363 MW で、現在の PDP8 より 27,747-80,819 MW 増加している。電源別では以下の計画となっている

石炭火力発電

石炭火力発電：31,055 MW（16.9-13.1%）、PDP8 と同じ。

国内ガス火力発電

国内ガス火力発電：10,861 MW（5.9-4.6%）、PDP8 と同じ。

輸入 LNG 火力発電

輸入 LNG 火力発電：8,824 MW（4.8-3.7%）、PDP8 より 13,576 MW 減少（進捗の遅い発電所の原因による減少）。

水力発電

水力発電：33,294-34,667 MW（18.2-14.7%）、PDP8 より 4,560-5,275 MW 増加。

再生可能エネルギー、バイオマス、廃棄物発電、地熱、蓄電、その他電力源

- 陸上風力発電：27,791-28,058 MW（13.2-14.4%）、PDP8 より 3,949-5,321 MW 増加。
- 太陽光発電（屋根置き太陽光を含む）：46,459-73,416 MW（25.3-31.1%）、PDP8 より 25,867-52,825 MW 増加。
- バイオマス、廃棄物発電、地熱：2,979-4,881 MW（1.6-2.1%）、PDP8 より 709-2,611 MW 増加。
- 蓄電エネルギー：12,394-22,271 MW（6.8-9.4%）、PDP8 より 9,694-19,571 MW 増加。
- その他電力源：2,000-3,000 MW（1.1-1.3%）、PDP8 より 1,700-2,700 MW 増加。

輸出・輸入電力および原子力発電

輸入電力：約 9,360 MW（5.1-4.0%）、PDP8 より 4,360 MW 増加。

輸出電力：約 5,000-10,000 MW、ただし経済効率を考慮し、エネルギー安全保障と国防を優先。

原子力発電：6,000-6,400 MW、2030-2035 年運転開始。

PDP8 修正案は、特に再生可能エネルギーと輸入電力源からの電力供給能力を向上させることを目的として承認された。商工省は今後、手続きを完了させ、速やかに政府に提出し、首相の承認を得る予定である。

以上